

透析医療の自主機能評価指標について

評価指標項目	
I. 施設の状況	
1. 施設の設備	
① 施設の種別	病院
② (有床の場合)病床数	229床
③ ベーシエントステーション台数(透析ベッド数)	90台
2. 施設の機能	
① 準夜透析の可否(21時以降終了)	可
② (可の場合)透析室の終了時間(通常時の最終透析回収時間)	21時30分
③ オーバーナイト透析の可否(日をまたがる透析で6時間透析以上)	不可
④ 在宅血液透析の可否	不可
⑤ オンラインHDFの可否	可
⑥ シヤント手術の可否	可
⑦ PTAの可否	可
⑧ 障害者自立支援医療機関かどうか	自立支援医療機関である
⑨ 処方区分(院内処方・院外処方)	院外処方
⑩ 腎代替療法実績加算の有無	ない
⑪ 下肢末梢動脈疾患指導管理加算の有無	ある
3. 医療スタッフの状況	
① 透析に関わる医師数	常勤:3人 非常勤(週1回以上勤務):0人
② 透析医学会会員の医師数	3人
③ 透析専門医の人数	3人
④ 透析技術認定士の人数	10人
⑤ 透析に関わる看護師数	常勤:17人 非常勤(週1回以上勤務):1人
⑥ 腎不全看護認定看護師の人数	0人
⑦ 慢性腎臓病療養指導看護師の人数	1人
⑧ 透析に関わる臨床工学技士数	常勤:20人 非常勤(週1回以上勤務):0人
⑨ 血液浄化専門臨床工学技士の人数	0人
⑩ 認定血液浄化臨床工学技士の人数	0人
⑪ 透析に関わるメディカルソーシャルワーカーの人数	常勤:5人 非常勤(週1回以上勤務):0人
⑫ 管理栄養士の人数	常勤:2人 非常勤(週1回以上勤務):0人
II. 患者の状況	
① 外来HD患者数	241人
② 外来PD患者数	0人
③ 外来透析患者に対する後期高齢者患者の比率	31%
III. 治療指標(外来HD患者対象)	
① 腎性貧血管理(Hb 10.0g/dl以上の比率)	81%
② P管理(P 6.0mg/dl以下の比率)	65%
③ PTH管理(iPTH 240pg/ml以下、あるいはwhole PTH150pg/ml以下の比率)	76%
④ 透析時間(4時間以上の患者の比率)	88%
⑤ 透析時間(5時間以上の患者の比率)	5%
⑥ 透析時間(6時間以上の患者の比率)	0%
⑦ 透析量(Kt/V 1.2以上の比率)	97%